

令和3年度 学校図書館評価シート

足立区立中川北小学校 校長 加瀬 幸司

1 学校図書館の現状（今年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 11,901冊（蔵書基準冊数 8,760冊）／ 蔵書率 135.9%									
	② 新規購入図書 356冊 ／ 廃棄図書 281冊 ／ 増減冊数 75冊									
分類	総記0類	総記0類	総記0類	総記0類	総記0類	総記0類	総記0類	総記0類	総記0類	総記0類
蔵書構成割合	1.6%	1.6%	1.6%	1.6%	1.6%	1.6%	1.6%	1.6%	1.6%	1.6%
*国基準	6%	6%	6%	6%	6%	6%	6%	6%	6%	6%
利活用の状況	① 開館時間：8:45～15:15（前年度からの変更なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 48.23冊（前年度：57.61冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 100%（前年度：100冊）									

2 学校図書館基本計画「学校図書館の目標・ねらい」の達成状況（今年度総括）

- ①読書の楽しさ、喜びを味わわせ、豊かな心情と幅広い知識を身に付けることができた。
- ②学校図書館の本や図書から目的に応じて必要な情報を収集し、自身の考えを深め、表現・活用できる能力を培うことにつながったが、十分ではない。
- ③学校図書館を効果的に活用することはできたが、課題解決を図ることのできる主体的な学習態度を育てることは十分ではない。

3 今年度の重点指導事項・具体的取り組み、及び成果目標の達成状況

第1学年	①絵本など読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、図書を利用して調べようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①朝の読書や学校図書館を使う授業で、読み聞かせをし、本に興味を持つ。 ②学校図書館を使う授業により、本を手にとる機会が増え、読書をする経験を重ねる。 ③学校図書館や地域の図書館（佐野図書館）の利用の仕方を知る。	①各クラス月4回以上、読書等の授業を学校図書館にて行う。 ②朝の読書や国語の並行読書、読書月間を利用して、年間1人あたり50冊以上の本を読む。 ③佐野図書館で本を借りる体験を1回する。
目標達成状況	
①9月を除き各クラス月4回以上、読書等の授業を学校図書館で実施することができた。 ②朝の読書や国語の並行読書、読書月間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読むことができた。 ③図書館改修の期間が長く、図書カードを作成して貸し出しの体験をさせることはできなかった。 まん延防止等重点措置期間は、校外学習の実施が難しく、佐野図書館へ出向くことはできなかった。	
第2学年	①いろいろな読み物に興味を持ち、親しみ楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ②図鑑を利用し、その内容を友達に伝えることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	①各クラス月3回以上、読書や探求活動、教員・児童による読み聞かせを学校図書館で行う。 ②読書月間を利用して、年間1人あたり50冊以上の本を読む。
目標達成状況	
①9月を除き各クラス月3回以上、読書や探求活動、教員・児童による読み聞かせを学校図書館で行うことができた。 ②読書月間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読むことができた。	

第3学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②資料や情報を集めるために、進んで学校図書館を活用する態度を養い、集めた情報を活用する力を育てる。 ③きまりを守って、学校図書館を利用する。
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今年度の成果目標	達成基準
①自分の好きなものや事柄をきっかけに、関連する本から読書の楽しみ方を見出し、読書する意欲を育てる。 ②辞典や図鑑等から分かったことを、相手に伝わりやすくするために図や絵、表にまとめることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、静かに読書を行うことができる。	①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を、学校図書館で行う。 ②年間1人あたり25冊以上の本を読む。 ③本を活用して、調べる学習を国語の時間に設定する。

目標達成状況
①9月を除き各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を、学校図書館で行うことができた。 ②読書月間を利用して、年間25冊以上の本を読むことができた。 ③本を活用して、調べる学習を国語の時間に設定し、レポートにまとめることができた。

第4学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

今年度の成果目標	達成基準
①様々な分野の本を読み、読書することの楽しさを味わわせ、自分の興味ある本の幅を増やしていく。 ②辞典や図鑑から情報を収集・活用し、それらを説明することができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書を行うことができる。	①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②年間1人あたり25冊以上の本を読む。 ③調べる学習コンクールに学年児童の70%以上が参加する。

目標達成状況
①9月を除き各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行うことができた。 ②読書月間を利用して、年間1人あたり25冊以上の本を読むことができた。 ③調べる学習コンクールについての事前指導する時間を十分にとることができなかった。そのため、学年児童の50%の参加となってしまった。

第5学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

今年度の成果目標	達成基準
①興味のある事柄について適切な本を選び、読書することができる。 ②複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	①年間1人あたり25冊以上の本を読む。 ②調べる学習コンクールに学年児童が75%以上参加する。 ③各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。

目標達成状況
①年間一人あたり25冊以上の本を読むことはできた。 ②調べる学習コンクールについての事前指導する時間を十分にとることができなかった。そのため、学年児童の50%の参加となってしまった。 ③各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行うことはできた。

第6学年	①読書の楽しさや有効性を実感しながら、日常生活の中で主体的、継続的に読書を行うようにする。 ②読書によって多様な視点から物事を考えることができるようになると気づくことができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について適切な本を選び、読書することができる。 ② 本や新聞など複数の資料を活用しながら調べたり考えたりしたことを報告する。 ③ 読書をしながら自分を支える言葉を見つけたり今までになかった考えを発見したりする。	①年間1人あたり25冊以上の本を読む。 ②調べる学習コンクールに学年児童の75%が参加する。 ③学校図書館を利用して、共感する言葉や新しい考えに触れたことを友達に紹介する授業を行う。
目標達成状況	
①年間一人あたり25冊以上の本を読むことができた。 ②調べる学習コンクールに学年児童の100%が参加することができた。 ③学校図書館を利用して、共感する言葉や新しい考えに触れたことを友達に紹介する授業を行うことができた。	

4 学校図書館環境整備に関する取り組み成果・効果

【蔵書・配架等に関すること】

- ①昨年度作成した新しい教科書の内容に対応する図書のリストを基に引き続き、購入を進めた。
- ②全体的に分野を問わず図書を購入することを教員に示し、各自の立場・分掌で希望図書を選定し購入を行った。
- ③大規模リニューアルに伴い、絵本、副本を移動し棚の整理を進めることができた。ただし、7～9月閉館となった。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ①コロナ禍で図書館への利用が遠退いた時期があった。改善策として支援員が年度末に「おはなし会」を開いた。今回は低学年だけであったが、集まった児童には大変好評であった。またその成果が出て、図書館利用率が実施前と比較して上がった。
- ②調べ学習や授業資料など、図書館に関することについて積極的に支援員と連携・相談を行うことができた。

【その他】

- ①図書館マップの作成とその掲示位置を見直し、児童が利用しやすい学校図書館となった。

5 学校図書館運営に関する全体評価（自己評価）

創立50周年の記念事業の1つとして、地域・保護者も協力し、これまで以上に広い教室に図書館を移設した。7月から図書の移動、図書館全体の壁の塗り直し、書架の塗り替え・整備、旧ランチルームの机・いすをリペアし、新たに閲覧室に置く等、大規模リニューアルを行った。また昨年度に引き続き、感染症拡大防止のためのパーテーション設置、さらにはサーキュレーターの設定も行い、これまで同様安全に利用できる図書室となった。その際、学校図書館支援員のアドバイスや支援は大変役立った。地域の方からも大事にされる図書館となった。

週時程に朝読書を週4回設定し、教員・児童とも全員が読書する時間を設けた。その結果、読書が習化した。また、読書冊数も目標に達することができた。

図書館支援員や図書委員会の児童による学校図書館廊下掲示が常に工夫されており、児童が本を選ぶ際に大変参考になっていた。広い分野の本を手取るきっかけとなっていた。

調べる学習コンクールについては、全体の授業時数との関係から事前指導を行う時間が十分に取れなかった。次年度は、学校図書館を効果的に活用し、課題解決を図ることのできるよう、事前指導の時間を設ける。

6 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（外部評価）

創立50周年記念事業として学校図書館のリニューアルを行った。今後も長く大事に学校図書館を利用してもらいたい。

7 今後の展望 ー課題や問題点への改善・対応方針を踏まえてー

読書通帳の活用が、十分ではなかった。理由はどのように活用していくかが校内で十分議論されていなかったことによる。「読書通帳」のかつようについて再度見直しを図る。今年度のリニューアルを機に地域・保護者の力も更に借りて、読書の楽しさ、喜びを味わわせ、豊かな心情と幅広い知識を身に付けることのできる皆に愛される学校図書館を目指していく。また保護者向けの図書コーナーも設置して、保護者の読書活動も応援していきたい。